



「old × new = the new」をミッションに空き家や古民家の残置物を流通させる事業を行っています。具体的には約100年前の家具や木彫りの熊に価値を見出し、アップサイクルする活動や古き良きモノをセレクトして古道具市の開催を東京や海外で行っています。終活などにより、自分の資産を整理する方々が非常に多く、古き良き日本のモノが大量に廃棄されています。その大量に廃棄されているモノを次の世代に残せるよう流通する仕組みを構築しています。

<p>【目標】 空き家や古民家にある残置物を流通させる</p>	
<p>【主な取り組み】 家財整理などで見つけれられる空き家や古民家にある残置物のうち約90%を捨てているが、それを60%まで改善する</p>	

<p>【目標】 家財整理を適切に行うことにより、空き家活用を促進し、住み続けられる街づくりを行う</p>	
<p>【主な取り組み】 高岡市の空き家率は14.7%（平成25年度）であり、13%を目指す。</p>	

<p>【目標】 健康状態を維持する</p>	
<p>【主な取り組み】 定期的な健康診断、朝方への勤務の切り替えにより、メンバーが働きやすい環境づくりを行う</p>	

高岡を持続可能なまちにするために

- ・高岡の空き家や古民家などの残置物を「見つける・磨く・活かす」ことを通して、モノを捨てずに活用する文化をつくる
（具体的には残置物が流通するマーケットを東京や海外で作り、今まで捨てていたモノを捨てずに活かせる環境づくりを行う）
- ・空き家や古民家の残置物を有効活用することで、廃棄量を減らし（廃棄コストを減らし）、空き家や古民家の活用を促進する